


# 調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 24日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳 

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 元年11月6日から11月8日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	第81回全国都市問題会議	
会場名（会場所在地）	鹿児島県霧島市国分清水 309 霧島市国分体育館	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	今回の会議では、防災に関する行政の施策及び自治会等をはじめとする地域のコミュニティ組織の取り組みについて、霧島市における事例を見るとともに、市長及び学識経験者の皆様の経験や研究成果に基づいた講演と報告、そしてパネルディスカッションを通して、「防災とコミュニティ」について学び、各都市が抱える共通した課題の解決への糸口になるよう研修する。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・富田宗一・ <del>本</del> 沢勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮菌伸仁・柴田利勝・朝井賢次・水野良一 11名 (本人含む)	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和2年3月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和 元年11月6日から11月8日まで（2泊3日）
調査先・研修名	第81回全国都市問題会議
会場名（会場所在地）	鹿児島県霧島市国分清水309 霧島市国分体育館
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	今回の会議では、防災に関する行政の施策及び自治会等をはじめとする地域のコミュニティ組織の取り組みについて、霧島市における事例を見るとともに、市長及び学識経験者の皆様の経験や研究成果に基づいた講演と報告、そしてパネルディスカッションを通して、「防災とコミュニティ」について学び、各都市が抱える共通した課題の解決への糸口になるよう研修する。

志学館大学人間関係学部教授原口氏による「鹿児島県の歴史から学ぶ防災の知恵」というテーマで基調講演がありました。南九州の江戸時代の災害史を振り返ってみると、「洪水→台風→旱魃→虫害→疫病」のサイクルを繰り返し、さらに火山爆発、地震、津波が被害を増幅させた。とあり、このような厳しい環境下でどのように暮らしてきたのか、生活の知恵が紹介されました。火山活動でできた地下の空洞（ガマ）が多くあり、夏は涼しく冬は暖かいという利点を生かし、古くは縄文時代の人々の住居となり、古代においてガマが熊襲穴と呼ばれ軍事の拠点として活用され、近世では食料の貯蔵庫にも使われた。このようにして古くから人々は自然の地形とともに生活してきた。また、南九州は農家の耕作地があちこちに点在している。これは台風の多い地域であるので、耕作地が全滅するのを防ぐためである。このようにこの地域では災害は起こる前提として社会が築きあげられてきた。私たちも災害は短なところで起こりうる可能性があるという認識を持って防災対策を考えるべきである。

続いて主報告として霧島市市長中重氏の講演があった。

平成23年1月26日に新燃岳で300年ぶりの大規模なマグマ噴火が起きた。市では直ちに災害警戒本部を立ち上げ、全庁で対策に当たった。また、気象台をはじめとする防災関係機関との連携をはかって24時間体制で人的災害防止に努めた。

このような経験をもとにもともと火山地帯であったこの地域の防災は火山防災マップや、情報伝達の充実、指定避難場所の整備、また、自助共助の防災対策を実施している。さらに、農業被害対策としては、火山情報に加え、水質検査など、水利組合などの農業関連団体との連携を深め、情報交換を行いながら農業被害の提言に勤めている。観光業界の被害対策や、自治体間、関係機関との連携協力体制を整え災害は起こるものとして備えている。

研修（受講後の感想）瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

近年、日本各地で大きな災害が起きている中、今回のテーマは大変興味深いものであった。防災対策はどこまでやったら安心ということは無く、常に危機感を持って対応しなくてはならない。1日目の講演が終わって帰りのバスの中、桜島が大きな爆発とともに噴煙をあげていました。この地域にとって災害とは身近なものであり防災活動は生活の一部であることが実感できることでした。

今回の講演の中で特に地域防災の要は地域住民であり、自治会活動の充実が災害時の対応において有効である旨の話がありました。近年近所づきあいが少なくなっている中、地域の安全を担保していくには自治会を中心とした防災に関する意識の向上が必要だと感じました。災害はいつか起こるものではなく災害は起きて当たり前ものと考え、災害に備え、防災意識の向上が本市においても課題であると感じました。

